参考

築山社協だより

第 47 号
平成27年３月１日
築山地区社会福祉協議会
発行人　加藤　俊悦
（題字：茂林　憲子）

▶楢山公園◀
戦後70年
乙女の像

楢山公園の入口。２人の乙女が背中合わせに立っているブロンズ像。「通りすぎる人」と名付けられたその像は、峯田敏郎・元秋田大教授の作。終戦間際の昭和20年６月、県立女子医学専門学校がこの地に創立された。諸般の事情から卒業生を出すことなく、わずか２年で廃校となった。窓を挟んで立つ乙女像は、それぞれの道に歩んだ同窓生の姿と良き前途への願いを表している。（北條　晃）

地区「民生委員」へ相談を！

築山地区社会福祉協議会
副会長　佐々木洋吉

日頃は、わたしたち民生委員の活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。

しかしながら、民生委員は何をしているの？との疑問もあるようなので、この機会にわたしたちの活動について少し詳しく説明してみたいと思います。

民生委員の制度は、大正６年岡山県で発足した「済世顧問制度」に始まり、翌７年には大阪府で「方面委員」制度が発足し、昭和３年にこれが全国展開されました。

当時は、救貧対策を中心に活動を展開していましたが、昭和21年に「民生委員令」が公布されたことを契機に、「方面委員」から「民生委員」に改称され、救貧活動だけでなく、地域福祉推進のための幅広い活動を担うこととなりました。

また、昭和23年に成立した「民生委員法」に基づき設置され、さらに同年の「児童福祉法」の制定により児童委員を兼任（同法第12条）する事になり「民生児童委員」とも称される事になりました。

民生委員は、民生委員法第１条に規定されているとおり、「社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ「必要な援助」を行うことにより、「社会福祉の増進に努める」こととしています。

民生委員は社会全体に対する奉仕の精神をもって活動し、職務に対して有形無形の対価を要求することはありません。いわゆる民間奉仕者としての活動を行うべきであることが示されています。

少し難しく書きましたが、地域住民の生活状態を必要に応じ適切に把握して、あらゆる生活上の相談に応じ、その解決のため適切な支援を行う関係者と密接に連携し、その活動を支援するものです。

民生委員は、その活動に対して、厳格な守秘義務が定められております。相談された内容が、決して漏れることはありませんので、どうぞお気軽に近くの民生児童委員（築山社協だより第45号に記載）へ相談して下さい。

いつでもお待ちしております。

（秋田市民生児童委員協議会副会長
築山地区民生児童委員協議会会長）

秋田市社会福祉協議会
27.3.06
受収

慶祝

おめでとうございます
心より祝福いたします

平成26年度　（敬称略）

警察庁長官表彰
◎交通功労（築山社協副会長）
佐々木洋吉（楢山共和町）

秋田中央警察署長表彰
◎交通功労（民生児童委員）
佐藤　翠（南通みその町）
◎防犯功労
松田　昭夫（宮田町内会長）
高橋ユウ子（楢山登町）

秋田県社会福祉協議会会長表彰
◎社会福祉功労（民生児童委員）
高橋　満男（楢山本町）

秋田市社会福祉協議会会長表彰
◎社会福祉功労（民生児童委員）
川井　精一（楢山本町）

秋田市緑化推進委員会会長表彰
◎緑化功労　高橋　重治（楢山登町）
内藤　眞吾（楢山愛宕下）

会務報告

平成26年８月～27年２月

８月16日　地区敬老会該当者に案内状を民生委員、町内会長に依頼し配布

９月１日　築山社協だより第46号を発行し、民生委員、町内会長を介して全世帯に配布。

９月10日　赤い羽根共同募金運動の研修会に会長が出席、共同募金説明会へ会長、事務局長が出席

９月13日　敬老会該当者全員に民生委員、町内会長の手を借り、商品券（千円）と敬老会名簿を配布

９月15日　社協役員、民生委員の手を借り地区敬老会の準備

９月16日　地区敬老会を楢山コミセンで開催

９月27日　第３回グラウンドゴルフ大会を友の会の協力を得て築山小学校グランドで実施

９月30日　市社協会費（１１１万３１２０円、３、０９２世帯）を納入

10月１日　赤い羽根共同募金運動推進

10月23日　第４回グラウンドゴルフ大会を太平山同ゴルフ場で実施

10月30日　市社会福祉大会へ参加（市文化会館）

11月３日　楢山コミセンでボール送りや玉入れなどの軽スポーツ大会と終了後カラオケ大会を実施

11月25日　地区内の老人クラブ、福祉関係諸団体に助成金を贈呈

12月１日　歳末たすけあい募金運動の推進

12月16日　地区内３保育園に子育て支援金を補助

12月18日　第一会館で秋田市７地区研修交流会を開催

12月26日　地区配分会を開催し、歳末たすけあい募金運動で示された善意を地域内の要援護世帯や母子家庭などに一律５千円を民生委員を介して配布

市社協だより第60号を民生委員、町内会長の手を借り全世帯に配布

１月15日　市社協連絡協議会第２回研修会に参加

１月29日　「幼児と高齢者の集い」を民生委員と役員の協力を得て楢山コミセンで実施

１月29日　市社協Ｂブロック研修会へ参加（協同大町ビル）

２月20日　地域福祉活動合同研修会へ参加、事務担当者研修会へ参加

地区へのご芳志

（平成26年４月～平成27年２月）

○ご香典返し
30万円（亡夫　重明さん）
楢山登町　進藤　史明　様
10万円（亡母　わか子さん）
楢山南中町　加藤　俊悦　様
５万円（亡妻　明子さん）
南通みその町　高桑　博　様
５万円（亡夫　和市さん）
楢山登町　岡崎　朝子　様
１万５千円（亡夫　善八郎さん）
楢山登町　根田フミ子　様
１万円（亡妻　リサ子さん）
楢山登町　安田　清一　様

○篤志
２万円
楢山南中町　加藤　俊悦　様
５千円
南通みその町　高桑　博　様
５千円
楢山登町　七尾　四郎　様
５千円
楢山太田町　佐藤　政子　様
雑巾２００枚
楢山太田町　佐々木優子　様
（築山小学校と若竹学園へ贈呈）

たくさんのご寄付をいただき厚く御礼を申し上げます。皆様の善意を地域の福祉に役立たせていただきます。

謹んで哀悼の意を表します

築山地区社会福祉協議会
理事　太田　昭夫殿
民生児童委員
平成26年９月７日死去・78歳

社協の定期総会開催予告

27年度の築山社協の定期総会は次のとおり開催します。

記
日　時　４月25日(土)午後２時
場　所　楢山コミュニティセンター

◆編集後記◆

昨秋の敬老会（２面）では、福井陽子氏（楢山太田町）が代表あいさつをされ、また市社協の大塚妙子氏（３面）、地域包括支援センターの川上功子氏（５面）お二方にご寄稿をいただき、本会報は〝女性の輝く第47号〟と相成った▼大塚氏は近所の「近助」を主唱されたが、語呂合わせではないはず。「近助」は「共助」、「互助」のバリエーション（多様性）かも▼一口に近所の人といっても各人の生い立ち、人となり、人生観等が異なり一枚岩ではない。大塚氏も声かけの難しさを懸念されている。ごみ収集所の出会いはあろうが、井戸端会議は今の時代に似つかわしくない▼回覧板を回す10世帯位の範囲、格子戸を開けて手渡しながらの声かけがお互いを見守るになるのでは？まもなく春めいて来るが、例えば除雪作業など自然に協力が生まれる活動を行えば、近隣、ひいては地域結束の鍵になるのではなかろうか。（北條　晃）

編集委員　北條　晃
〃　加藤　俊悦
〃　樋渡　久孝
連絡先（事務局）樋渡　久孝

平成26年度各種募金運動実績及び社協会費納入報告書

町内会・各学園等、皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。

単位：円

No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費	No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費
1	宮田	50,000	48,000	18,200	50,400	39	登町東部	19,000	41,200	6,760	18,720
2	ＪＲ宮田自治会北	10,000	24,000	8,000	8,000	40	登町中央部平和会	10,000	21,000	4,290	12,240
3	イーストハイム宮田	10,000	32,200	6,760	19,440	41	登町西部	24,000	28,000	6,000	16,560
4	築地北町	16,900	16,900	2,860	7,920	42	亀ノ丁栄町	7,500	16,000	2,500	5,400
5	築地東上町	15,000	15,500	3,770	10,080	43	餌刺町	27,000	34,000	10,000	28,800
6	築地窪町	14,500	16,800	2,210	6,480	44	九郎兵ェ殿町	29,800	34,200	6,500	16,900
7	築地上本町	26,500	48,800	6,890	19,080	45	笊町	23,000	21,000	7,800	21,600
8	築地下本町	24,000	18,600	4,810	13,680	46	三枚橋町	42,000	59,600	9,230	25,200
9	築地中町	11,000	10,000	5,000	18,000	47	愛宕下東丁	11,500	12,600	2,080	6,120
10	築地西町	9,000	14,800	2,340	6,480	48	愛宕下西丁親交会	23,500	29,200	5,330	14,760
11	築地睦会	6,500	7,000	1,300	3,600	49	愛宕下南丁	10,000	12,000	2,600	7,200
12	楢山本新町上丁	14,000	19,000	5,200	15,120	50	愛宕下北丁	20,000	23,400	5,070	14,040
13	楢山本新町下丁	28,000	31,000	5,600	14,400	51	愛宕下中丁	17,000	19,600	4,030	11,160
14	楢山上本町	10,000	17,000	5,000	10,080	52	城南町	27,450	39,600	8,710	21,960
15	楢山本横町	7,000	16,000	3,120	8,640	53	金照寺山	15,500	11,000	10,000	12,600
16	内木町	16,500	16,000	4,160	11,880	54	楢山寺小路北部	11,200	9,700	0	13,320
17	楢山本町下丁	10,500	11,400	2,470	6,840	55	楢山寺小路南部	10,000	4,000	5,000	12,600
18	楢山古川新町	12,000	77,000	20,000	45,360	56	城南みなみ	10,000	23,000	5,000	10,400
19	百石橋通り	15,000	13,000	2,500	7,920	57	楢山石塚谷地	6,000	24,000	6,000	14,400
20	枡取町親睦会	10,500	20,000	5,000	9,000	58	楢山（大元町）	71,000	90,000	25,000	36,000
21	末無町	26,800	34,800	9,620	27,360	59	楢山石塚町	35,000	43,000	11,700	32,400
22	医王院前町	19,800	21,350	5,590	15,840	60	楢山石塚新町	53,000	48,000	20,000	57,600
23	楢山広小路	12,250	12,500	3,250	7,560	61	太田町本町	11,750	17,700	4,030	11,320
24	楢山虎ノ口新町	21,000	27,000	9,100	25,000	62	太田町山水会	18,500	26,600	4,030	11,160
25	南新町	85,000	85,000	24,700	61,200	63	太田町東部	6,800	16,000	3,900	10,440
26	森林管理局第一	12,000	14,400	3,120	8,640	64	太田町睦会	4,000	8,800	1,690	4,680
27	太平	9,500	11,400	2,470	8,640	65	太田町栄町	9,500	11,400	2,470	6,840
28	牛島橋通町	6,960	41,600	7,280	20,880	66	太田町南町	13,500	17,202	3,380	9,360
29	牛島橋通り南部	13,000	15,600	3,380	9,720	67	太田町新町	14,000	25,200	4,030	10,800
30	楢山共和町	5,500	6,600	1,430	3,960	68	太田町旭町	11,500	12,200	2,340	5,760
31	楢山下浜町	31,500	55,400	7,870	21,600		町内会合計	1,305,210	1,784,652	429,970	1,113,120
32	川口境西部	16,500	24,000	4,160	11,830		日赤奉仕団築山分区	7,000			
33	登町南部	50,000	61,600	12,480	36,000		秋田南中学校生徒会		22,762		
34	川口境東部	45,500	42,000	10,000	26,280		築山小学校児童会		8,990		
35	若草団地	10,000	35,000	13,000	36,000		城南園		6,804		
36	入川橋	12,500	15,600	3,380	9,000		グランドゴルフ友の会		38,500		
37	十軒町	9,500	17,400	2,470	6,840		その他	20,000			
38	米沢町	8,000	11,200	2,210	5,760		総計	1,332,210	1,861,708	429,970	1,113,120

和やかに26年度

築山地区敬老会

当築山社協が主催する地区恒例の敬老会は、昨秋9月16日、楢山コミュニティセンターで開催されました。お招きした75歳以上の高齢者１４６３名の内、男性64名、女性73名、計１３７名の方々がご出席されました。

まず当社協の加藤俊悦会長＝**写真**＝から「現在の住み心地の良い地域社会の形成のため、長年鋭意ご尽力されました皆様に深く敬意と感謝を申し上げます。近年は認知症高齢者の増加が大きく社会問題化しています。皆様には、何卒その予防に取り組んでいただき、またご家族、ご近所の方々で異変に気づかれましたら、早めに地域包括センターなどに相談していただきたいと存じます」などと挨拶を述べました。

さらに来賓の秋田市立秋田南中学校教頭・嵯峨房和氏、同市立築山小学校校長・林崎　勝氏からも祝辞を頂戴いたしました。

次いで敬老者代表として福井陽子さん＝**写真上**＝（楢山太田町・79歳）が登壇、「主催の皆様に厚くお礼申し上げます。此の度私に挨拶の依頼があったのは、安倍首相が女性活躍に期待する方針を打ち出した影響によるものと解釈しました。本日、出席の皆様にも若かりし頃があったわけですが、今が一番若い時ですね。この若さを維持するヒントとして、次の言葉を紹介します。（カ）感動する。（キ）緊張を保つ。（ク）寛ぐ。（ケ）健康への心がけ。（コ）好奇心を持つ。――この言葉を思い出し、健康管理に努めて下さい。」との謝辞、提言がありました。

右竿燈・小若囃子（はやし）方の部優勝の築山小が腕前を披露
上フラダンスを熱演する「プルメリア」のグループ

ステージや場内では、歌とお遊戯（みどり保育園児）、歌とご挨拶（築山小学校１年生）、築山小学校竿燈クラブ、新日本舞踊（瑛会）、フラダンス（プルメリア）、大道芸（城南亭鶴亀）など演芸グループの皆さんが座に興を添え、宴もたけなわ。

やがて所定の時間。参加者一同は今秋の再会を約し、懇親会もめでたくお開きとなりました。

築山地区敬老会案内者数の推移（平成11年度以降）※該当年度75歳以上の方

案内年度	男性	女性	合計（名）	案内年度	男性	女性	合計（名）
平成１１年度	４５１	７２０	１,１７１	平成１９年度	５２０	９３０	１,４５０
〃 １２年度	４５９	７６３	１,２２２	〃 ２０年度	５４４	９７２	１,５１６
〃 １３年度	４６２	７８８	１,２５０	〃 ２１年度	５３３	９９４	１,５２７
〃 １４年度	５０１	８２５	１,３２６	〃 ２２年度	５５４	９９５	１,５４９
〃 １５年度	５２２	８７１	１,３９３	〃 ２３年度	５７３	９８９	１,５６２
〃 １６年度	５４８	８９４	１,４４２	〃 ２４年度	５５３	９７７	１,５３０
〃 １７年度	５２７	９７８	１,５０５	〃 ２５年度	５３６	９６２	１,４９８
〃 １８年度	５２４	９３１	１,４５５	〃 ２６年度	５２８	９３５	１,４６３

本年4月1日から

指定管理者制度 に移行
楢山コミュニティセンター

築山地区の住民などが行事やレクリエーションなどに利用している楢山コミュニティセンターが、本年4月から築山、中通地区で管理運営することになります。

一昨年前から移行準備委員会を立ち上げ、既に同制度で運営している他地区のコミセン（略称）などでの勉強会、管理運営委員会の会則や事業計画、予算、利用の手引きなどを検討、昨年の11月27日に設立総会を開催し、委員の賛同を得て4月1日から指定管理者制度に移行することが決定しました。

この制度では、秋田市から受け付け管理業務に関する人件費と若干の設備保守費用が支給されますが、今までの市の運営から見れば、大変窮屈な運営となり、利用団体・個人からの運営協力金をお願いすることになります。また消防計画を作成し、消火管理者の選任など大きな問題もあります。

利用の申込は原則1カ月前から、午前9時から4時間単位の申込となります。年間の登録サークルは週1回、その他のサークルは月2回まで、コミセン行事及び地域の諸団体の利用が優先され、受付後でも変更調整することもあります。

皆様には移行初期で、不便な点や不満がありましたら受付の人にお話下さるようお願い致します。

TEL　834-9844

楢山地区コミュニティセンター
管理運営委員会（役員・敬称略）

会長	富川 有策	（築山地区）
副会長	木山 二郎	（中通地区）
〃	鈴木 夏代	（築山地区）
事務局長	福井 陽子	（築山地区）
〃 次長	相澤 裕子	（中通地区）

楢山合唱クラブのステージ（昨年11月）

築山地区各町内会のご尽力で
26年度歳末たすけあい募金

赤い羽根・共同募金の一環として、「歳末たすけあい運動」は、毎年末に築山地区共同募金会（会長・加藤俊悦）が推進しておりますが、「誰もが、明るいお正月を迎えられますように！」と地域住民相互の〝たすけあいの心〟の醸成にも大きく寄与して来ました。

平成26年度は、築山地区各町内会のご尽力で、総額42万9970円の歳末募金（秋田市社協への納入分を含む）が寄せられました。

地区共同募金会では、12月26日に地区配分会を開き、募金運動で示された善意を、地域内の生活困窮世帯、母子世帯（いずれも生活保護費受給者を除く）、65歳以上の14世帯へ、年内に一律5千円を地区民生委員を介してお届けしたところです。

なお、築山地区共同募金会は、昨年4月1日付で秋田県共同募金会から、「募金活動優秀地区」として表彰されております。

近隣の福祉施設にも果物贈呈

築山社協では、この「歳末たすけあい募金」から毎年、近隣の福祉施設を対象に果物を贈呈しております。

やはり昨年12月末、母子生活支援施設の秋田婦人ホーム（楢山古川新町）、通所介護事業所の川口デイサービスセンター（楢山登町）、知的障害児入所施設の若竹学園（横森）の3施設へ、りんご（大）1箱、みかん2箱宛を贈呈して、入所（利用）者の皆さんから感謝されました。

※別稿のとおり、高齢者等へお届けした煎茶の購入費も「たすけあい募金」の一部からです。

▼7面参照＝各種募金運動実績

煎茶を謹呈　高齢者等を激励訪問

本年1月5日、築山社協では民生委員等と連携して高齢者世帯等の見守り活動を実施しました。対象者は、75歳以上のひとり暮らしの方381人、80歳以上の高齢者のみの115世帯、ねたきり高齢者14人の世帯等、合わせて510世帯です。

「歳末たすけあい募金」の一部を活用、予め準備した煎茶を持参して、一軒一軒戸別に安否確認をしながらの激励訪問でした。

築山地区に 特別寄稿

築山地区の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

日ごろから皆様には本会の事業運営にあたたかいご支援・ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。また地域福祉推進のために、赤い羽根共同募金の活動にも地域をあげて、地区社協役員、民生児童委員、町内会長、福祉協力員等の皆様から格別のご尽力をいただきありがとうございます。

特に築山地区におかれましては、地区社会福祉協議会、地区民生児童委員協議会、町内会連絡協議会の連携が大変素晴らしく、敬老会をはじめ地元の楢山コミュニティセンターを会場とした「いきいき地域サロン」や、救急時のための「安心キット事業」等に積極的に取り組んでいただきまして、厚く御礼申しあげます。

また、26年度築山地区では、特別事業として、地域防災・減災、防犯意識を高める基礎情報の提供を目的とした「築山地区防災・防犯ハザードマップ」の作成と、全世帯への配布に取り組まれました。この取り組みは地震や豪雨などの時に、どう動いたらよいのかという築山地区の実態にあった内容となっています。本会の「地域福祉活動計画」の「災害時の地域でのたすけあいの仕組みづくり」という項目を先駆けて実践していただいております。

このように、地域に住む方々が安心して暮らせるように、地区社会福祉協議会が積極的に、先進的に動く気質は築山地区の歴史の中にも出てきます。

画期的な設立趣意書

本会の書類の中に、築山地区社会福祉協議会の設立趣意書があります。

「社会福祉事業は公的な保証制度のみでは充分とは言えません。また一部の篤志家や社会奉仕者のみに任せておいたのでは、到底その目的を達成することはできません。

そこで従来の慈善的恩恵思想から、新しい『共同社会の連帯責任』という考え方が生まれて来ます。

つまり築山住民の福祉は住民自らの手で、自らの力で進展向上させねばなりません。私たちの郷土・築山の福祉事業が住民のほんとうの福祉厚生のために役立つように、みんなで力を出しあって『より明るい、より住みよい』地域社会をつくりあげて行くために社会福祉事業法に則って結成されたのが『築山地区社会福祉協議会』であります。（昭和30年7月）」

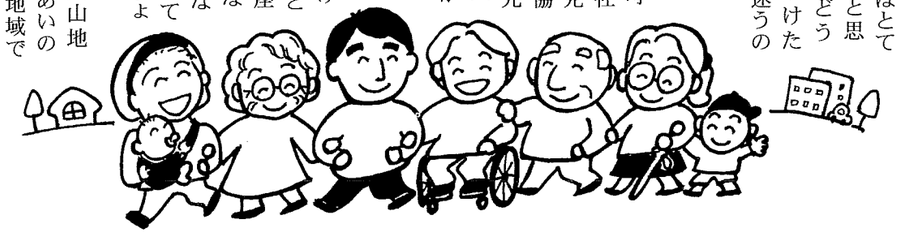
なんと素晴らしい画期的な趣意書でしょうか。築山地区の先達の方々がこのような思いで地域福祉活動を進めておられたのです。

その時代時代で住民が必要とする事業は変わってきます。全国各地でおこる自然災害とその対策、地域の子どもを守る活動、認知症の方の様々な生活課題や生活困窮者の生活課題などへの対応など、地域の方々が安心して暮らせるために、地域に住む者として何ができるのかという視点で、考え合っていくということが、とても大切なことだと思います。

これは災害時だけでなく、認知症の方の行方不明の課題についても、お互いにちょっと声がけできる近所づきあいがあることはとても心強いものと思います。ただどうやって声をかけたらいいのか、迷うのも事実です。

築山地区でもお互い様の活動として町内会長、地区社協役員、民生児童委員、福祉協力員等と、地元の地域包括支援センターが連絡を取り合って「認知症の予防と、上手な声がけの仕方」などというテーマで座談会のようなざっくばらんな会を持ってみては、いかがでしょうか。

もともと築山地区は「たすけあいの精神」の強い地域です。今こそ近所の底力で「近助」をますます高めていく皆様のご協力を心からお願い申し上げます。



築山地区の地域福祉活動に寄せて
近所の「近助」を高めましょう

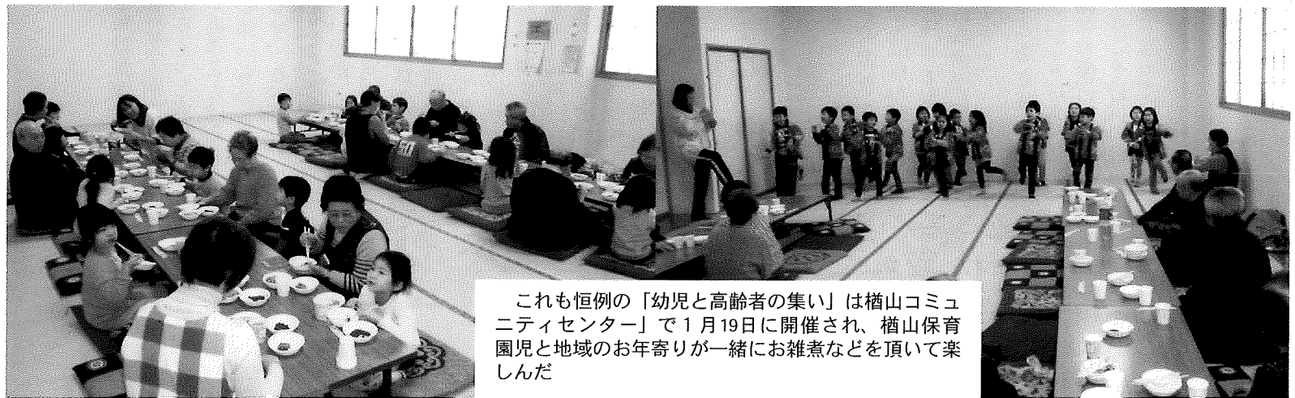
秋田市社会福祉協議会
常務理事
事務局長　大塚妙子

近隣同士で助け合う

「公助、共助、自助」という言葉があります。公助は公的な支援、共助は市民による支え合いの取り組み、自助は市民一人ひとりの努力ということになりますが、最近ごく身近な近所の住民同士の「近助」が大変重要ということが言われています。自然災害等でも直後の救助は、近所の住民の力だったとのことで、正に「近所の近助」が大切です。

地域活動　写真で見るまちの動き

今冬の「楢山かまくら」は、２月11日から３日間、楢山太田町の広場（なかよし会館前）で行われ、築山小学校児童の「２分の１成人式」からスタート、雪室のような「かまくら」の前には、成人後「幼稚園の先生」、「看護師」「プロテニスの選手」になりたい等の夢が短冊に記されていた（86人参加）



これも恒例の「幼児と高齢者の集い」は楢山コミュニティセンター」で１月19日に開催され、楢山保育園児と地域のお年寄りが一緒にお雑煮などを頂いて楽しんだ

地域の高齢者を多面的に支える
中通地域包括支援センター幸ザ・サロン

管理者　川上功子
（主任介護支援専門員）

当中通地域包括支援センター幸ザ・サロンは、地域で暮らす高齢の皆様を、介護・福祉・健康・医療など様々な面から総合的に支えるための相談窓口として、秋田市から委託を受け、平成25年４月、南大通りに開設されました。

相談件数は、当25年度の実績で９４６件、介護保険を中心に、雪よせや食の自立支援・緊急通報システムなどの福祉サービス、また権利を守る相談もございました。

介護が必要な状態になるのを予防するお手伝いとして「はつらつくらぶ」、「スマイルアップ倶楽部」を開催して健康づくり、社会参加や交流も推進しております。２Ｆのサロンは一般に無料で開放しておりますので、読書やおしゃべりなど、自分の心地好い居場所としてご利用いただければ幸いです。

地域包括ケアシステム

現在、地域包括支援センターの課題として「地域包括ケアシステムの方策」があります。これは、高齢者が在宅で暮らし続けることができるように支援する仕組みであり、医療・介護・予防・生活支援・住まいの五つの視点で在宅生活を支えます。

なぜ地域包括ケアシステムが必要なのかといいますと、認知症高齢者の増加に伴い、地域での認知症ケア体制が必要になり、ひとり暮らしや夫婦世帯の増加が見込まれるも家族の介護力は低下、高齢者の割合は増えるのに介護の担い手の不足ということが起ります。

２０２５年は秋田市の情報統計の資料によりますと、総人口は４万２千人減少し、高齢者人口は１万人増加と推計されるそうで、３人に１人が高齢者となります。在宅で暮らし続ける、自己決定し主体性を持って生活できるように支援する仕組みの中で、地域は大きな位置を占めています。

それでは、地域に住む私たちができることについてはいかがでしょうか。

認知症サポーターの養成

実は当地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座の出前もしております。認知症は誰もがなる可能性のある身近な病気です。脳の障害であったり、脳の変性であったり、場合によっては症状が改善する場合もあり、早期発見、早期治療が大切です。そのためにも認知症サポーター養成講座を活用いただき、認知症の病気を正しく理解し、あたたかい目で見守る応援者になっていただきたいものです

ゴミ出しに迷っているようでしたら声をかけていただいたり、町内の行事に誘ったり、ご家族の労苦に耳を傾けたり、身近なことからはじめるのはいかがでしょうか。一つ一つの小さな力が、地域の大きな力になると信じて、認知症サポーター養成講座をお話しさせていただきました。

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続け、また家族も安心できるように、秋田市では「認知症ケアパス」の会議が開かれております。状態に応じて医療、介護、福祉等の適切なサービスが提供できるようにとのことですが、連携や協働により、さらに安心の重みが増すものと思われます。

まだまだ当地域包括支援センターの認知度は低く、地域への発信力、貢献度の低さも大変申し訳なく思っております。自助・互助・共助・公助を組み合わせた地域のケア体制づくりは、皆様の今までのノウハウを学ばせていただきたいと思っております。

はじめて開催の地域ケア会議には、築山地区から社会福祉協議会、民生児童委員協議会、町内会長連絡協議会の各会長、女性代表として民児協副会長・鈴木夏代様のご参加をいただき、いろいろアドバイスを頂戴いたしました。

築山地区のいろいろな要素を加味した防災マップの作成など、地区に対する熱い思い、地域の福祉力を感じております。向こう三軒両隣りの精神で見守りをお願いしつつ、中通地域包括支援センターへのご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

（秋田市中通６丁目４－27　☎８２７－３３２３）

（上）仲間づくり、体力づくり「スマイルアップ倶楽部」
（下）高齢者たちの介護予防を支援「はつらつ くらぶ」